



令和6年12月18日
海上保安庁

日印海上保安機関長官級会合及び連携訓練の開催について ～インド沿岸警備隊との連携・協力を強化します！～

海上保安庁は、令和7年1月10日（金）、インド沿岸警備隊長官を東京に招聘し「日印海上保安機関長官級会合」を開催します。

また、本会合に併せて7日（火）から11日（土）までインド沿岸警備隊の巡視船が横浜に寄港し、海上保安庁と環境防災分野の連携訓練等を実施し、両機関間の連携・協力の強化を図ります。

1. 経緯

- 海上保安庁とインド沿岸警備隊（ICG）は、平成11年に発生した「アロンドラ・レインボー号」海賊襲撃事件を契機として、平成12年から海上保安に関する協力関係を構築してきました。
- 両機関は、長官級会合や連携訓練等の実施を通して連携・協力を強化し、インド・太平洋地域における治安の維持と安全の確保に取り組んでおり、今回の会合は、第21回目の会合となります。

2. 長官級会合

日 時：令和7年1月10日（金）

場 所：海上保安庁本庁（東京）

出席者：海上保安庁 瀬口 良夫 長官

ICG パラメシュ・シヴァマニ 長官

主な議題：・これまでの両機関の連携・協力について

・人的交流や連携訓練など、両機関の交流の更なる発展について

・多国間の枠組みにおける連携・協力について など

3. 連携訓練

ICG巡視船が6年ぶりに横浜に寄港し、第三管区海上保安本部横浜海上防災基地において、当庁機動防除隊との環境防災分野（危険・有害物質（HNS）対応）の連携訓練等を実施します。

海洋汚染対策については、油汚染事故対応のみならずHNS流出事故時の

対応も行っており、今後国際海運における温室効果ガス削減に伴った代替燃料の使用を見据えるとHNS対応がより重要になることから、ICG巡視船の寄港に合わせて知識・技能の共有を図るものです。

なお、今回の連携訓練には、米国沿岸警備隊における海上災害対応の専門部隊であるナショナル・ストライク・フォース（NSF）の隊員も参加する予定としており、各国で知識・技能の共有を行うこととしております。

4. スケジュール

日付		内容
1月7日(火)	(午前)	ICG巡視船 横浜入港
	(午後)	入港歓迎式
1月8日(水)～11日(土)		日印連携訓練 ※ 9日に両機関長官による連携訓練視察を予定
1月10日(金)		長官級会合
1月11日(土)		ICG巡視船 横浜出港